

2025 年 10 月 15 日（水） 13:00～15:30 開催

山梨県と企業の未来をつなぐ

第 1 回やまなし SDGs 推進企業 交流・活性化ワークショップ

会場：山梨県立やまなし地域づくり交流センター



開催概要

本ワークショップは、山梨県内の SDGs 推進企業と、リアルな場で事業連携・交流のきっかけをつくることを目的に開催されました。

第 1 回のワークショップは「自分らしく働ける・やりがいを感じる職場づくり」をテーマに実施。後払い（BNPL）決済のリーディング企業の株式会社ネットプロテクションズの石井俊輔さんをお迎えし、8 社 8 名のみなさんにご参加いただきました。

このレポートでは当日の様子を写真と共にご紹介させていただきます。

※今回のワークショップは以下の SDGs 目標に関連しています。

目標 4：質の高い教育をみんなに

目標 5：ジェンダー平等を実現しよう

目標 8：働きがいも経済成長も

第一部 講演

第一部ではネットプロテクションズの石井様にお話しをしていただきました。同社では上司や部下といった階層を設けず、個々が意思をもって動く「ティール型組織」を採用しています。マネージャー制度の廃止や 360 度評価、情報の全面開示など、社員が自ら考え、動く文化を形成しているとのこと。自分の興味や関心にもとづいて参加できる「ワーキンググループ制度」もあり、自ら手を挙げて株主総会の運営に携わる社員もいるそうです。

石井さんは、「社員一人ひとりが“つぎのアタリマエをつくる”意識を持ち、年次や役職に関係なく意見を言い合える環境が組織の力を高める」と語りました。制度づくりの背景や、全社員で対話しながら制度を設計していったプロセスなど、リアルな経験談も共有されました。

事業と組織の両面でイノベーションを起こしている同社の取り組みから、“働きがいも経済成長も”というSDGs の目標の先行事例として多くの学びを得ることができました。



質疑応答ではさまざまな質問が寄せられました。360 度評価の運用について「悪い評価への納得性をどう担保しているか」という問いには、「四半期ごとに成長支援を目的としたフィードバックの担当者を設けている。対話を通じて人事制度への納得度を高めていくことも重要」と回答。「ティール型組織では個人がやりたいことを選ぶ形か、プロジェクトを選ぶ形か」という質問には、「プロジェクトを選ぶこともあれば、個人が動き出したものがプロジェクトへ立ち上がっていく形もある。個人の意思を尊重しつつ、会社として判断・調整を行っている」とお話されました。

参加者からは「リモート下でも関係を育む工夫」や「若手への接し方」などの質問もあり、石井さんは「web 会議だけですべてを知ろうとせず、日常の関わりを大切にしている」「固定観念を持たず、まずは相手を受け入れる姿勢が重要」とお話されました。

第二部 ワークショップ

第 2 部では、ファシリテーターの五嶋達暁さんのもとワークショップが行われました。今回は 8 名 1 チームでゲストの石井さんを囲み、和やかな雰囲気のもと実施。「自社で実現したい“ずっと働きたい会社”とは？」をテーマに語り合いました。冒頭の自己紹介では、参加理由や「山梨の好きなところ」を共有し、会場は和やかな雰囲気に。後半では、講演を受けて感じたことや、明日から取り組みたいアクションプランを発表しました。

「部署を超えたコミュニケーションを促し、他部署の視点から改善点を探りたい」「否定しない聞き方を意識し、心理的安全性を高めたい」「能力のある人に業務が集中しないよう、雑談の中で本音を引き出すようにしたい」「自由な発言やアイデアを歓迎する文化を根づかせたい」など、多彩なアクションプランが発表されました。

「社員一人ひとりの声に耳を傾ける」といったアクションプランには「それなら自分の職場でもできそう」「明日からでもできる」といった声もあがり、会場は終始、活発な意見交換で盛り上がりました。

質疑や意見交換の内容は、事務局スタッフが Slack にも投稿。当日登録が初めての方も事務局のサポートを受けて参加し、オンライン上でも新たな交流の輪が生まれました。



第三部 交流会

ワークショップ終了後は、自由交流の時間に。「もっと話を聞きたい」「自社でも導入したい仕組みがある」といった声が多く、時間いっぱいまで活発な意見交換が続きました。

参加者からは、「医療・介護など特殊な業界でも、固定観念を手放せば働きやすさを高められると気づいた」「ティール型組織の導入過程で、全社員が1年間対話を重ねたという話に感銘を受けました。小さな対話の積み重ねを大切にしたい。」「現場の課題を“自分ごと化”して考えることの大切さを再認識した」などの感想が寄せられました。交流会の時間になっても石井さんへの質問が続き、互いの課題や思いを語り合う姿が見られるなど、最後まで熱気に満ちた時間となりました。

今後「やまなし SDGs 推進企業」の Slack コミュニティでは、今回の学びや実践事例を共有し合う予定です。ワークショップで生まれた対話の輪が、山梨の企業同士をつなぎ、より働きがいのある職場づくりへと広がっていくことが期待されます。



やまなし SDGs 推進企業の Slack では、ワークショップのご案内や、企業同士の交流・情報共有を行っています。参加をご希望の方は、下記までお気軽にご連絡ください。

やまなし SDGs 推進チーム事務局

委託業者 株式会社別視点 木村・山越

sdgs_yamanashi@betsushiten.com